

平成31年(令和元年)度 射水市公募提案型市民協働事業 事業評価結果

№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	森であそぼう！里山さんぽ	273千円	子育て支援課	a	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(698千円)	平成29年度(3年目)						
2	Fukutan Active Project ～イキイキ健康生活応援事業～	210千円	保健センター	b	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(421千円)	平成29年度(3年目)						
3	発達障害児に対するタブレット端末使用による学習支援	173千円	社会福祉課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人はぁとぴあ21	(259千円)	平成30年度(2年目)						
4	射水丘陵における希少生物・地域在来生物の保存に関する事業	1,000千円	環境課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(1,535千円)	平成30年度(2年目)						
5	先人に学ぶ「ふるさと射水再発見」事業	336千円	生涯学習・スポーツ課	a	a	a	a	a	A
	南原繁先生来県百周年記念顕彰会	(410千円)	平成30年度(2年目)						
6	ふるさと再発見「甕れ内川！ - 魚・水・環境 - 」	382千円	環境課	a	a	a	a	b	A
	NPO法人水辺のまち新湊	(511千円)	平成31年度(1年目)						
7	「We Love 右門」 - 生誕300年の記念すべき年に -	390千円	地域振興・文化課	a	a	a	a	a	A
	小杉まちづくり協議会	(525千円)	平成31年度(1年目)						
8	学校における性の多様性に関する理解促進事業	76千円	学校教育課	a	a	a	a	b	A
	富山福祉短期大学	(103千円)	平成31年度(1年目)						
9	のじた盆踊り継承事業	700千円	港湾・観光課	a	a	a	a	a	A
	のじた踊り屋台保存会	(937千円)	平成31年度(1年目)						

平成31年(令和元年)度 射水市公募提案型市民協働事業 事業実施結果

№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	森であそぼう！里山さんぽ	273千円	子育て支援課	a	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(698千円)	平成29年度(3年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日				一般参加プログラム:6/1、7/13、10/19、11/30					
事業概要				担当課としての所感					
保育所は、人、物、場などの環境が相互に関連し合い、子どもの生活が豊かなものとなるよう計画的に環境を構成し、工夫して保育に取り組むことが求められている。今回自然体験型保育を通して、子どもも大人も、感覚を磨きながら多様な経験を積み重ねていくことにより、探究心や想像力、環境と関わる姿勢や態度を身に付ける機会を提案する。				「はじめての親子サバイバル」をテーマに、子どもたちが普段、あまり経験することがない火おこしやナイフを使って木を削ったりするなど、貴重な学びの場となった。保育園の園庭を使った研修では、身近な環境を活用した遊びを学ぶことができ、子どもたちの園庭遊びが質、量ともに向上するなど効果があった。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
2	Fukutan Active Project ～イキイキ健康生活応援事業～	210千円	保健センター	b	a	a	a	a	A
	富山福祉短期大学	(421千円)	平成29年度(3年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
射水市における生活習慣病領域及び介護領域は年々増加傾向にある。この改善のためには、行政として予防の普及、啓発活動、実践支援、市民としては予防改善に対する認識の向上と実践が重要であることから、市民の健康づくり・介護予防に取り組む意識を高め、生活行動能力の維持向上を図り、健康寿命の延伸に役立つプログラムを提供する。				事業の効果として、運動能力測定、認知機能調査を実施し、継続意欲の向上につなげたことが評価できた。また、参加者の意識向上のため、ミニ講義を毎回実施したこと、運動が好きでない方に参加していただくためのお出かけ事業の実施、日頃の活動量を増加させること等、工夫して実践したことはよかった。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
3	発達障害児に対するタブレット端末使用による学習支援	173千円	社会福祉課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人はぁとぴあ21	(259千円)	平成30年度(2年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
放課後等デイサービスに通所している発達障害児を対象に、知識やスキルの習熟度や学習速度が異なる児童生徒一人ひとりに適した個別学習を行い、知識やスキルが定着するよう、タブレット端末を使用した学習支援事業を行う。				2年目の計画のうち、予定されていた外部講師による講習会が開催されず、事業所内での内部研修となった。事業内容としては、今年度新たに整備したタブレット端末を含む7台を活用し、児童の学習への興味や関心、集中力の向上につながっており、一定の効果が見られる。補助事業としては最終年度であるが、対象児童に合ったアプリの使用等工夫をしながらタブレット活用による学習支援の継続を期待したい。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
4	射水丘陵における希少生物・地域在来生物の保存に関する事業	1,000千円	環境課	a	a	a	a	a	A
	NPO法人自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会	(1,535千円)	平成30年度(2年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
里山地域の多い射水市において、生物多様性・生態系の理念を啓発し、希少動植物・地域在来動植物の保存を図るとともに、里山の生物多様性の衰退を防ぎ、地域の活性化を図るため、生物多様性保存型里山ビオトープの造成や里山ビオトープを活用した市民等への啓発活動を行う。				射水丘陵の豊かな里山を守り、その生物多様性・生態系の維持に資する事業であり、造成したビオトープに絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオや、地域在来の希少生物の自然産卵が確認されるなど成果があった。 しかし、希少生物の生息地のため、無闇に立ち入ってよい場所ではなく、どのように市民に周知するかや、交流人口の増加の方法に工夫が必要である。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
5	先人に学ぶ「ふるさと射水再発見」事業	336千円	生涯学習・スポーツ課	a	a	a	a	a	A
	南原繁先生来県百周年記念顕彰会	(410千円)	平成30年度(2年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月23日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
射水地区の発展に大きく貢献した南原繁や地元有力者の功績を学び、地域づくりを担う人材の育成やふるさと教育、射水の魅力発信につなげるため、市内各種団体や教育機関と連携し、鰻絵の歴史や技法について学ぶ鰻絵体験ワークショップや、南原繁に関するリーフレットの作成・市内全中学校への配布を行った。				事業の実施により、「たくましい人材育成」の基盤となる郷土愛を育む教育の推進につながったと思われる。 公募提案型事業は終了となるが、ふるさと教育推進の一助となるよう、学習会や関連行事の継続実施をお願いしたい。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
6	ふるさと再発見「甦れ内川！ - 魚・水・環境 - 」	382千円	環境課	a	a	a	a	b	A
	NPO法人水辺のまち新湊	(511千円)	平成31年度(1年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日				内川清掃:5/18、9/28 竹竿づくり講座:5/25、6/22 魚釣り大会:8/25、10/27 魚図鑑講座:11/30					
事業概要				担当課としての所感					
内川の情景を残すためには、景観保全と共に環境保全にも目を向ける必要があるため、清掃活動や釣り大会、講座等の内川の水辺環境と生態系の保全を啓発する活動に取り組む。また、内川周辺が抱える課題に取り組む支援者の育成を図る。				内川周辺の環境美化や景観保存に資するだけでなく、竹竿づくり講座・内川魚釣り大会・魚図鑑講座などの活動は地元の子どもたちを参加させることによって郷土愛を育んでいる。また、大人たちにとっては、内川の環境が改善されていることを知る良い機会となった。 資金確保については、同団体は同地域で他の事業で協賛金を募っており、新たな協賛金を募ることが困難である。子どもが主体の活動のため参加者負担金の増額も厳しい。資金をかけない方法や別の資金確保の方法を考える必要がある。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
7	「We Love 右門」 - 生誕300年の記念すべき年に -	390千円	地域振興・文化課	a	a	a	a	a	A
	小杉まちづくり協議会	(525千円)	平成31年度(1年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日				小杉まちづくり協議会主催イベント、地域敬老会等で延べ10回上演					
事業概要				担当課としての所感					
歴史にスポットを当てたまちづくりとして、日本史上で輝く業績を残した藤井右門の人物像を取り上げた紙芝居や舞台劇の制作・上演を行うことで、市民とふるさとの偉人の情報を共有し、コミュニティの強化に寄与する。				これまで団体が培ってきた藤井右門に関する熱心な研究がDVDになったことで、市民が郷土の埋もれた偉人を知る機会が広がった。このことは公益的・社会貢献的な事業であったと評価する。 今後の展開が大いに期待される。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
8	学校における性の多様性に関する理解促進事業	76千円	学校教育課	a	a	a	a	b	A
	富山福祉短期大学	(103千円)	平成31年度(1年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年2月29日				特別授業(片口小学校5年生):1/15					
事業概要				担当課としての所感					
性自認や性的指向に悩む子供は、学校の中で誰にも相談できずにいるケースが多く、不登校になったりいじめの被害にあったり自殺を考えたりする子供も少なくない。そのため、性の多様性について教職員が見識を深めるとともに、子供たちが学ぶ機会づくりを行い、全ての子供にとって居心地の良い環境づくりの一助とする。				小学5年生を対象に行った特別授業は、問題点の理解度や偏見のない視点で考えることができる等の点で発達段階として適切なタイミングであり、有意義な学習機会となった。また、教員向けの研修会の開催やテキストを配布することで、悩みを持つ児童生徒への正しい対応等について問題意識を持つことや理解を深めるきっかけとなった。					



№	事業名	補助金額	担当課	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
9	のじた盆踊り継承事業	700千円	港湾・観光課	a	a	a	a	a	A
	のじた踊り屋台保存会	(937千円)	平成31年度(1年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日				イータウン納涼祭:7/26 のじた踊り納涼祭:7/27					
事業概要				担当課としての所感					
かつて新湊市や射水郡の一带に盆踊りとして伝えられてきたのじた踊りの継承と普及に努め、郷土芸能として定着させることで、射水市民の一体感の醸成や郷土愛の醸成、地域の活性化につなげる。				地域の伝統の継承と高齢者の生きがいづくり、また子どもたちの地域愛の醸成に寄与している。					



平成31年(令和元年)度 射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業評価結果

No	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	地域振興会名	(総事業費)	開始年度(年数)	課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	ふるさとの歴史文化の再発見事業	150千円		a	a	a	a	a	A
	塚原地域振興会	(301千円)	平成29年度(3年目)						
2	黒河地区竹林環境整備事業	200千円		a	a	a	a	b	A
	黒河地域振興会	(485千円)	平成30年度(2年目)						
3	児童・地域住民で作る多目的芝生広場	200千円		a	a	a	b	a	A
	堀岡地域振興会	(261千円)	平成31年度(1年目)						
4	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円		a	a	a	a	b	A
	戸破地域振興会	(295千円)	平成31年度(1年目)						
5	作道校下防災、安心・安全マップ作成事業	200千円		a	a	a	a	a	A
	作道地域振興会	(888千円)	平成31年度(1年目)						

平成31年(令和元年)度 射水市地域提案型市民協働事業 事業実施結果

№	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
1	ふるさとの歴史文化の再発見事業	150千円	平成29年度(3年目)	a	a	a	a	a	A
	塚原地域振興会	(301千円)							
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日				講演会開催日:令和2年2月24日(月・祝)					
事業概要				担当課としての所感					
「塚原地域歴史年表」の配布から、さらに事業を発展させるため、「ふるさとの歴史文化の啓発事業」として、全国的に著名な外部講師を招聘して講演会を開催し、地域住民が歴史文化を学び、未来の地域づくりを考える一助とする。				「冷泉家公家文化の歴史を伝える」と題し、冷泉貴美子を講師として招き講演会を実施したが、住民が文化や技術の伝承について学ぶ良い機会となった。 今年度で補助事業は終了となるが、「歴史・文化」を地域振興につなげるためには、歴史・文化に興味を持った住民が学ぶ「インプット」だけでなく、その学びの成果を地域に還元する「アウトプット」の仕組みを構築する必要があるため、この事業の成果を生かし、工夫を続けていってほしい。					
									

№	事業名	補助金額	開始年度	評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)		課題解決	協働の効果・事業の効果	事業の実現性・実施能力	先駆性・独自性	自立性・持続性	
2	黒河地区竹林環境整備事業	200千円	平成30年度(2年目)	a	a	a	a	b	A
	黒河地域振興会	(485千円)							
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
竹林地の荒廃が懸念されている中、遊歩道の設置をはじめとした環境整備に地域全体で取り組み、竹林を活用した地域住民交流の場づくりを行い、地域の活性化を推進していく。 また、竹林管理の後継者育成にもつなげていく。				昨年度に引き続き竹の伐採や砕石敷均しなどの作業を実施し、着実に遊歩道整備が進んでいる。 まだ遊歩道として活用できる状況にはないが、今後も地域ぐるみで整備を進め、イベントの実施といった地域のにぎわいづくりにつなげられるよう期待したい。					
									

№	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
3	児童・地域住民で作る多目的芝生広場	200千円		a	a	a	b	a	A
	堀岡地域振興会	(261千円)	平成31年度(1年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月26日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
地域の力を生かした子育ての場、住民交流の場とするため、住民参加の 植え込み作業等を行い、堀岡コミュニティセンター敷地内に多目的芝生広場 を造成する。				約60人の地域住民が集まって芝生の植え付け作業を行うなど、地域ぐるみでの 整備が進められている。七夕・行灯カーニバルで芝生広場を活用するなど、地域住 民の交流の場・憩いの場として定着するよう工夫もされており、事業効果は高いと 考えられる。					



№	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
4	小杉地区の母なる下条川の魅力向上作戦	200千円	平成31年度(1年目)	a	a	a	a	b	A
	戸破地域振興会	(295千円)							
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和元年12月20日									
事業概要				担当課としての所感					
地域住民が母なる下条川を大切にすることを養い、下条川沿いの更なる魅力向上を図るため、桜の開花時期に合わせて花が咲くよう、下条川の土手沿いにスイセンの植え込みと清掃活動を行う。				約50人の地域住民がスイセンの植え付け作業に参加するなど、地域ぐるみでの整備が進められている。下条川の土手に2,000球のスイセンを植えたが、当初の計画のとおり桜が咲く時期に合わせて開花しており、地域の魅力向上につながった。今後もスイセンの植え付け範囲を広げる計画となっており、地域の賑わい創出につながっていくと考えられる。 資金面については、協賛を募るなど、補助終了後も継続して管理することができる体制づくりを求めたい。					



№	事業名	補助金額		評価項目					総合評価
	団体名	(総事業費)	開始年度	課題解決	協働の効果・ 事業の効果	事業の実現 性・実施能力	先駆性・ 独自性	自立性・ 持続性	
5	作道校下防災、安心・安全マップ作成事業	200千円		a	a	a	a	a	A
	作道地域振興会	(888千円)	平成31年度(1年目)						
事業期間				参考 イベント等を開催した場合は、開催日					
平成31年4月1日～令和2年3月31日									
事業概要				担当課としての所感					
全国的に災害が発生し甚大な被害が生じていることや、合同防災訓練を体験し、住民の間で防災や安心・安全への関心が高まっていることを受け、各自治会の課題や意見を持ち寄った「マップ」を作成し、全世帯や希望団体等に配布する。				実行委員会として作道地域振興会を構成する13自治会長も参加し、各自治会で把握している注意箇所等を反映させるなど、地域で活用しやすいマップの作成に努めていた。また、保育園や小中学校、消防分団等の関係各所にもマップを配布しており、地域ぐるみで防災意識を高め、安心・安全なまちづくりにつながったものと考えられる。 今後、防災訓練等にマップを活用し、さらなる安心・安全なまちづくりに取り組んでいただきたい。					



平成31年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【提案団体用】

見 本

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	平成31年度(1年目)
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
課題解決	地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
協働の効果 事業の効果	協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	事業対象者の満足度は高かったか。	
事業の実現性・ 実施能力	計画どおりに事業を実施することができたか。	
	団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	予算の執行状況は適正であったか。	
先駆性・独自性	新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
自立性・持続性	自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	課題解決	協働・事業の 効果	実現性・実施 能力	先駆性・独自 性	自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (~)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

特記事項(特に工夫した点やアピールしたい成果、反省点等を自由に記載してください。)

評価結果について

事業開始年度が平成30年度(事業2年目)又は平成31年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。

平成31年度 公募提案型市民協働事業
評価シート【担当課用】

見 本

事業名			
団体名		担当課名	
補助金交付額(実績)	千円	補助事業 開始年度	平成31年度(1年目)
総事業費(実績)	千円		

評価項目	評価ポイント	評価
課題解決	地域課題や市民ニーズを捉えた事業となっていたか。	
	公益的・社会貢献的な事業となっていたか。	
協働の効果 事業の効果	協働事業として実施することによる相乗効果はあったか。	
	市が実施するより、効果的又は効率的であったか。	
	事業を実施したことによる、具体的な効果や成果がみられたか。	
	事業対象者の満足度は高かったか。	
事業の実現性・ 実施能力	計画どおりに事業を実施することができたか。	
	団体の持つ専門的な知識や経験が、事業に生かされたか。	
	事業計画書に掲げた目標を達成することができたか。	
	予算の執行状況は適正であったか。	
先駆性・独自性	新しい視点や発想を取り入れた事業となっていたか。	
	独自の工夫やアイデアが盛り込まれた事業となっていたか。	
自立性・持続性	自己努力による資金確保や自立的な発展が見込めるか。	
	事業の継続性を期待できるか。又は、事業効果の持続性が期待できるか。	

評価 結果	項目別 評価	課題解決	協働・事業の 効果	実現性・実施 能力	先駆性・独自 性	自立性・持続 性	総合 評価	

評価方法	評価ポイント	該当する場合は「○」、該当しない場合は「×」として評価する。	
	項目別評価 (~)	評価ポイントのうち、4分の3以上が「○」である。	a
		評価ポイントのうち、半数が「○」である。	b
		評価ポイントのうち、「○」が半数に満たない。	c
	総合評価	項目別評価のすべてが「b」評価以上で、「a」評価が4つ以上ある。	A
		項目別評価のすべてが「b」評価以上である。	B
		項目別評価に「c」評価が含まれている。	C

担当課としての所感(事業効果の具体的な内容や、特に評価すべき点、改善を求める点等を記載してください。)

評価結果について

事業開始年度が平成30年度(事業2年目)又は平成31年度(事業1年目)の事業について、総合評価がB又はCである場合は、「事業改善計画書」を提出していただきます。また、総合評価がCとなった場合や「自立性・持続性」の評価項目に1つでも「×」評価がある場合は、団体及び市が協議の上、事業の廃止も含めた抜本的な見直しを行うこととします。